（明治四十三年十二月三十日第三種郵便物認可）（日刊）月曜及祭日の翌日休刊 明治四十四年一月廿六日（木曜日） 第六百十號 （一）

京城新報

人の一生は重き荷を負ふて遠き道を行くが如し急ぐ可らず

明治四十四年紀元二千五百七十一年
本紙定價 ▲一枚金二錢▲一ヶ月前金卅錢▲三ヶ月前金九十錢▲六ヶ月前金一圓八十錢▲郵税一ヶ月十五錢
月曜日及び大祭日の翌日は休刊（日刊）
廣告料金 ▲五號活字十七字詰一行一回金五十錢▲雜報欄特別廣告五號活字十七字詰一行金七十五錢
發行兼編輯人 高木久馬太郎
印刷人 松久神一郎
京城西署西小門通（電話六六三）
發行所 京城新報社

●鑛業權許可方針

鑛業權の許可に就ては新政後一時停止をなし居りしが近頃其方針を改めたる由にて從來は如何なる場所と雖も先願權により一應區域の調査のみにて許可し居たるも今後は同一の場所に請願人數名なる時は區域鑛性等詳細の調査を經たる上にて許可する事になりたる由にて要するに愼重の調査を經たる後請願人等の身元等確實鑛業家たるに適するかをも調査したる後に於て決定する次第なりと云ふ

●京畿道地方費課賦

京畿道地方費賦課金賦課規則は本日の官報を以て發布同日より施行の事となれり同規則に於ける賦課金の課目及課率は左の如し

一 地税附加税 本税百分の五（但し京城府を除く）
二 市街税 賣買價格百分の一
（但京城府は左の課率に依る）
一等地 月税金百七十五圓
二等地 同 金百二十五圓
三等地 同 金七十五圓
四等地 同 金四十圓
五等地 同 金三十圓
三 屠場税
屠牛 一頭金一圓
屠豚 同 金二十錢
屠羊 同 金二十錢
四 畜税
屠牛 一頭金一圓
屠豚 同 金二十錢
（但し京城府を除く）
五 土地家屋所有權所得税、土地家屋の價格千分の四
六 抵當權取得税 債權金額千分の二
（但し四號乃至六號は京城府に限る）

●硝子製造徒弟募集

大阪市南區難波櫻川一丁目寺村民藏氏は大阪に於て經營しつゝある硝子製造を鮮人にも教習せしむる目的を以て二十日京城府廳を訪問し徒弟の勸誘方を願ひ出でたる由なるが年齢は十二歳以上十五歳迄の者なりと

●愛媛漁船好成績

同縣下の漁業は頗る有望なる事業にして之に從事するもの頗年増加し漁場の狹隘を來し曾ては瀬戸内海沿岸漁民の紛爭を見るに至りたるが之れが救濟策として同縣水産聯合會は曩に朝鮮海の出漁を鼓吹したる為め今や同縣下より百有餘の出漁船は朝鮮蔚山郡竹洞に簇集し頗る多額の漁獲を得るの盛況を示し

●關門貿易旬況

下關門司兩港に於ける本月中旬の外國貿易は下關港は輸出入合計五萬七百十三圓にして之を前年同旬に比すれば六萬三千六百八十七圓を減じ門司港は輸出入合計八十九万五千七百六圓にして之を前年同旬に比すれば二十五萬五千七百二圓を減じたるが其の朝鮮貿易は左の如し（單位圓）

△下關港	本月中旬	一月以降累計
移出品	六三二、三〇七	九四二、九八三
移入品	一一三、九八七	一四三、二四七
移出入合計	七四六、二九四	一、〇八六、二三〇
移出超過	五一八、三二〇	七九九、七三六

△門司港	本月中旬	一月以降累計
移出品	二九、一九八	七七、四五八
移入品	一八、二二六	二一、九五四
移出入合計	四七、四二四	九九、四一二
移出超過	一〇、九七二	五五、五〇四

外事一束

▲獨逸● キール港に於ける潜水艇沈没の詳報を聞くに沈没の際艇長フィッシャー少佐カルピ大尉及び一名の水兵は司令塔に居殘りて將に沈没せんとする潜水艇を指揮しつゝありたり其の間に於て底部にある逃げ口は斷絶三名の死者は稍温みあるも遂に蘇生せしむ能はず他は皆疲れ果てたりと獨逸沈没潜水艇長の最後の決心は只死あるのみ窒息死あるのみ吾が沈没將士の手帖と比較して其の差若干ぞや

▲露國● 決闘を不法とし紛議決定の為名譽裁判を設く濫訴の弊必ずや多けん

▲米國● 陸軍費九千三百萬弗討論の末下院通過す約一億弗軍費眞意は如何

▲土耳● 古國憲近時の態度を憤慨し各宗僧侶一致して此の外患を防がんと議すと豈に啻に僧侶のみならんや土國民の總べてが風聲鶴唳の位地にあるは尤の次第なり

▲十領● エーメン州のアラビセ人は土耳古の權勢に對して宣戰を布告し凡ての電信線を切斷し形勢重大なるを以て土國政府は之れが鎭壓の為め一軍團の強兵を派遣したりと事情詳ならずと雖も未だ交戰團体として列國の承認を經べき程のものにはあらざるべし

▲葡國● 新政府は三隻のドレッドノート級戰闘艦を英國に注文したりと新政府の樹立動かすべからざるに似たり而も未だ列國の承認を經たるに非らざるも時機を見て愈々國際團体となるは疑無き所

山中鹿之助　六十五回

西尾麟慶演

兹に尼子九郎左衛門は、毛利元就と合体して毛利の臣河野四郎通貞夫に中國沖を乗り廻す海賊の張本來島太郎道康抔と云ふ屈竟の勇士をかたらひ、上月の注進を待て居りまする處へ、毛利の家來浦島兵部之丞、上月の狼烟を見て第一番に馳せ付け山中鹿之助を始め横道兵庫之助早川鮎之助の三名は徳市の為に毒酒にて命を落せしと注進致しました、十郎左衛門之を聞き、スワ時節こそ來りたりと、河野來島浦島の三人を我が家來の如く為し、富田の城へ參りました、尼子義久は斯る事の有しとは露知らず、鹿之助の病中を慰める為め琵琶法師徳市を遣はしたが、如何為せしかと八重姫と物語致し居ります、處へあはたゞしく御近衆馳來り 近「申上げます、只今寺本半四郎何事なるか早馬にて馳せ來る樣子に候、之を聞て義久は上月の城へ遣はした寺本が、早馬にて立歸るとは合點ゆかず、何事かと傍に居りましたる、尼子九郎左衛門に御尋ねになつた、其時九郎左衛門莞爾と笑ひ 九「イヤ御驚ぎあるナ、半四郎の早馬は上月の城にて山中鹿之助横道兵庫之助早川鮎之助の三人琵琶法師徳市が謀計にて毒殺されし其注進で御座る 義「コレは又思ひよらざる其一言、何故あつて鹿之助始め三人毒殺せられたか、又盲人徳市は何人なるか、如何して汝は之を知りたるぞ、とたゝみかけて問はれました時、太郎左衛門 九「其御不審御尤も 然かし為には釋伽に於ける提婆のごとき山中鹿之助あらざれば大事を申上げる、其尼子の一族として塵芥の如く扱はれし無念骨髄に徹し、蹴て毛利元就に一味して雲伯播の三州を横領せんと思へども、鹿之助當家にある内は中々其謀計行ひ難し、依て盲人徳市を呼寄せ彼に大事を明してマンマと彼等三人を毒殺せり、又某が近侍と見せたるは皆毛利家の勇士なり、各々義久を取卷玉へと云ふより早く、河野來島浦嶋の三人、小具足に身を堅め義久公に鐵砲をさし向け、スワと云はゞ一と打と取卷く、傍に居りました尼子の家來が驚いた、餘りの不意に氣をのまれ、アレヨ〳〵と云ふばかり別に主人を救ふ手段も御座りません、此の節尼子九郎左衛門は 九「如何に義久人吾に辛ければ吾又人に辛しとやら、斯く相成りしは汝が疎き者に親み、親しき者を遠ざけたる天罰である、今日只今尼子の家斷絶の時來たりしと思ひ潔く自殺しろ」と云はれて義久も最早是迄と覺悟、たか差添へ手を掛けアワヤ自害と見へし折、妻の八重姫夫へ飛び出で、其差添に取すがり「暫く御待下さん樣、終始の樣子は次の室に於て承はりました、御生害遊ばさんとは御尤もの事ながら、跡に殘る勝丸を何んといたしませう、心をしづめて御思案あれと」落涙して諫めました、處へ寺本半四郎も駈けつけ來りましたが、飛道具を以て主人を取卷て居りまする故、何うする事も出來ません、暫し思案に沈みましたが、暫くあつて寺本半四郎 寺「アイヤ方々暫時主人の銃先を外したまへ、上月の一條申上げたし、夫を聞て、尼子九郎左衛門は、九「イヤ寺本、拙者も上月の樣子委しく聞きたく思ひ居つたる處なり、速く物語りたまへ夫迄決して鐵砲の火蓋は切らせんと云はれて半四郎ホロ〳〵と落涙致し、ヤ徳市が用ひたる毒酒の為め、鹿之助に横道の二人は其處に相果て、一人早川鮎之助は見苦しき死樣を見せまじと海中へ身を投せし事を落もなく物語り、傍に九郎左衛門に對つて 寺「如何なる理由にて斯く主人を手ごみに給ふか、次第によつては寺本半四郎、其許の相手になり申さん、拙者の心底御覧に入れる」と云ひながら大小をガラリと其處へ投げ出しました、九「ヤー寺本、只今拙者心底を物語り申さん、某が此度の謀叛、義久公新參の鹿之助のみを用ひて一門たる某の申す事は更に用ひ給はず、殊に夫なる御内室八重姫並に妹九重疾より某執心あれども、鹿之助が妻なれば思ふに任せず、依て義久公を倒し、鹿之助を殺して二人の婦女を手に入れんと日頃の念願」と始めて明す無道の一言



東京電報（廿五日着）

▲衆議院本會議　今廿四日衆議院本會議は午後一時より開會小村外相の演說あり終て尾崎行雄氏は對英關稅交涉の成行に就き質問を試み、外相は之に對し日英交涉の經過は未だ答ふるの時機に到達せずと逃げ佐々木安五郎、藏原惟廓其他數氏より質問を續發し午後三時漸く日程に入る先づ韓國併合に伴ふ事後承諾案緊急勅令十二件の議事は桂首相以下各大臣出席、増田代議士は財政處分、立法權委任に付き臺灣立法委任當時の實例を引き今回併合に際し緊急勅令に依れるは不當なりとて盛んに政府の措置を批難したり桂首相は朝鮮は大いに事情を異にし爲めに緊急勅令に依れりと頗る不明瞭の答辨を爲せしに花井代議士は法理上より議會の權利を主張　緊急勅令は廢し改めて法律とすべしと主張し桂首相は極力之に反對し結局該案は一括して廿七名の特別委員に附托せり

▲外相の演說　小村外相は廿四日の衆議院本會議に於て外交方針、列國關係、關稅問題及び朝鮮併合に就き一場の演說を試みたり其の要領は帝國と列國との關係は逐年益々親厚を加へ何等憂ふべき事實起生せず日英同盟は愈々鞏固を加ふと述べ韓國併合に關しては東洋の平和を維持し帝國の安固を確保する爲め斷然併合せりとて治外法權の撤廢關稅据置に就きて述べ最後に英國の條約改正談判は目下順當に進捗しつゝありと明言せり

▲關稅問題大論戰　衆議院は二十四日の本會議に於て小村外相と尾崎、佐々木等との間に關稅、排日問題に關して大論戰ありたり

▲財政に關する質問　二十四日豫算總會議に於て井上角五郎氏は財政に關し加藤政之助は社會組織と稅制に關して桂首相、齋藤海相との間に大問答ありたり

▲訴訟代理人請願　領事裁判時代より朝鮮に於て訴訟事務を取扱ひ居たる特許訴訟代理業者は過日辯護士規則の公布と共に總督府より右資格を卷揚げられたるに依り今廿五日小川平吉松田源治の兩代議士の紹介にて既得權を尊重し從來の通り訴訟事務取扱を許されたしと衆議院に請願書を提出せり

▲總督府追加豫算　朝鮮總督府より平壤鑛業所の追加豫算五百萬圓を二十四日衆議院へ提出したり

▲二少將の軍事視察　山口、豊部二少將等は歐米の軍事視察の爲め二月一日東京を出發すべし

▲淺間山又鳴動　廿三日以來淺間山又鳴動を初め附近一帶に砂灰を降らし長野前橋地方には二錢銅貨大の小石を降らしたる爲め同地一帶の人心恟々たり

雜　報

●朝鮮問題と議會　二十四日兒玉局長より山縣政務總監宛てに朝鮮問題に關し左の如き公電ありたり本日衆議院に於て併合の際に於ける緊急勅令及び處分に關する各勅令承諾を求むる件の一讀會を開き松田花井兩代議士の質問に對し桂總理及安廣政府委員の答辯あり二十七名の委員附託となりたり

●ペスト豫防講演會　朝鮮總督府醫院大講堂に於て二十四日晝夜二回に亘りペスト豫防講演會の催しあり講演者は森安博士のペストの歷史流行時の慘狀及原因症狀等に就、學理的詳細の說明あり後藤田院長は最も通俗平易、家庭的豫防の注意を說明し國家防疫機關と相待ちて個人は豫防に力め未雨綢繆の計を講すべく熱心講演し大に聽衆の注意を惹けり當日の聽衆は無慮數百名にして頗る盛會なりき

●ペストと貴族　二十六日朝鮮貴族並に漢城附近朝鮮人の重立たるものに對し前回同樣總督府醫院講堂に於て同日午後一時より午後四時迄懇篤にペスト豫防に關する講演ある由右貴族に對する分は總督府國府人事局長より聽講券を頒たれ其他は總監部より夫々配布せらるゝ筈に付希望者は同部に申出らるべしと亦內地人にして廿四日の聽講に洩れたる者は通譯の爲時間を空費するを厭はざれば入場差支無由

●衞戍病院長講演　龍山將校集會所に於て二十五日午後三時三十分より京城衞戍病院長佐藤軍醫正出席ペスト豫防に關する講話を爲せり

●防疫と交通狀態　國境に於ける交通は今や江上一面に氷塊を以て掩はれ鐵軌道以外の徒步交通は殆んど杜絕の有樣なるが鐵軌道は三道ありて一は安東縣より新義州に至れるもの他の二は營林廠及び鴨綠江の架設事務所に於て各專用に屬するものにて該鐵路は一般交通者の通行を禁止し居れるも沿岸一帶の取締と共に警察及び稅關に於て巡視看守を爲し居る由にて去る十四日よりの通行人は悉く收容し二十四日迄に八十餘名ありたり而して四鐵道路は去る十九日より北下洞は二十二日より何れも通行を禁止し新義州に至り鐵路も夜間は交通を禁止し居れりといふ

●通信技術官會議　通信局にては二十四日より約一週間の豫定を以て管內京城、釜山、平壤、元山、の各郵便局工務係長其他數名の技術官を召集し通信局工務課に於て岡本通信局長代理碓井技師其他列數名出席二十四日は諮問事項の概要に就て岡本技師の說明あり二十五日より本會議に移り一電信電話の工事狀況、二同技術上に關する諸問案、三同事務取扱狀況等に就て協議し尙は各係長の提出に係る協議事項も二三ある由

●明石總長の歸任　ペスト豫防督勵の爲め二十四日新義州に出張したる明石警務總長藥師川隊長高橋軍醫正の一行は廿六日午後歸任すと

●漢銀株の割當と拂込　漢城銀行の增資に就て募集株に對する申込總高は十五万五千八百四十株にて此人員四十五名なるが之れを割賦する時は千株に付三百八株の割合にして申込株の最多數は二萬四千株を筆頭とし一萬株以上の申込は五名あり目下夫々拂込つゝあり來る二十八日を以て締切る筈なるが利札の拂渡しは三月なる故銀行と株主間にて之れを分配する乙ゝなるべく名義の書替は一ケ月前たるを要するに付き本月中に凡ての手數を終了すべく傳へらる

●新拓殖會社計畫　名古屋一流の富豪神野金之助、岡谷總助氏等發起となり資本金百五十万圓を以て朝鮮の土地を抵當に資金を貸與する一の拓殖會社を設けんと目下計畫中なりと

●朝鮮林野の整理　農商工部に於て二十年計劃を以て朝鮮林野の整理を爲すべき事は既報の如くなるが右整理の着手は今回議會の閉會後の由にして其內容に就いて聞く處に依れば朝鮮の林野は現在百五十餘萬町步にして內地に於ける其面積に二倍し其廣漠の朝鮮林野は目下荒廢の度々高めつゝあり此儘放任する時は一年に將に十七八萬町步の荒廢を爲り漸次其整理を困難ならしむるの狀況にあるより其整理は實に朝鮮の急務とする處なるが其方法として薪炭材料たる樹其他白楊樹等を培殖しても十箇年後に於ては少なからざる利益を獲得し得るのみならず彼のアカシヤ等は他の植林困難なる樹木を培殖すべき基礎を得せしむるを以て將來大に有利の方法にして二十年後即ち朝鮮林野の經營成りたる後に於て少なくとも五六十億萬圓の林野財產を得るのみならず年々適當に伐木する時は外に五億萬圓の利收を得べき見込なりといへり

●第四回韓海水產研究會　二十五日より鹿兒島市に於て開催せる第四回韓海水產研究會へ各縣より提出したる問題は左の如し

▲長崎縣　一、樞要の漁業地に水產巡回敎師を派遣し其の地方の漁業調查をなし通漁業者及移住者指導の任に當らしめられたき事を朝鮮總督府に要望の件　二、朝鮮沿岸の未墾地は特に水產業經營者に是が使用を許可せられん事を朝鮮總督府へ要求の件

▲佐賀縣　一、朝鮮沿岸樞要の地に水產試驗場を新設せられん事を朝鮮總督府に對し要望する事

▲熊本縣　一、本部又は各支部所屬巡邏船に醫師を乘組ましめ毎日二回以上定期を以て漁村又は漁業根據地を巡邏し患者の施療をなす事　一、重なる漁業根據地に患者收容所を設置する事　一、漁場に接近せる市場又は漁獲の重なる集散地の狀況を調查し其都度速かに適宜の方法を以て漁民に周知せしむる事　一、餌料の供給を充てる爲め適宜の方法を講ずる事

▲福岡縣　一、朝鮮海水產組合代議員を現今出漁せる各府縣より一名宛選出する事に改正の件を總督府に建議する事　二、朝鮮海漁場に對し漁船トロール漁業禁止區域制限を發布せん事を總督府に請願の件

▲大分縣　一、水產事務取扱擴張に關し總督府に對し申請の件

▲鹿兒島縣　一、韓政府度支部時代に創立せる釜山製氷會社製氷を水產事業に使用するに對し相當の便宜を與へられん事を建議の件

議員候補者漫評

△△生

▲和田常市君　前後十餘年間商業會議所會頭の職に任じ又二十餘年間居留民會議員を繼續し現に民會議長たり居留地發展の爲に盡瘁せる其功勳は決して沒すべからず然れば其擧望隆々たる所以亦偶然ならざるなり而かも恭謙能く持し毫も尊大の態を見ざるは實に稀有の人格にして一般の敬仰を惹く事より當然とす君今や推されて中部の候補者となる其當選の如き疑の餘地無し

▲田村義次郎君　君は經濟財政を東京大學に學び田尻博士の門下生として職を大藏省に奉じ後ち臺灣銀行創立に與つて其助役となり到る處令名を博しぬ惜哉君の健康臺灣に適せず三十八年當地に移任し常に東部の雄鎭と仰がれ現に民團稅制調査會主查の任に在り而して公事を議する極めて公正又殖民政策に對し多大の趣味を持し秘鮮の識見を備ふ君今や推されて東部の候補者となる而かも當選せんか市政の重鎭たるや必せり

▲竹內菊太郎君　舊龍山民團は君一人のある爲めに多大の活氣ありしとは人の皆許する處なり君は現に鐵道局囑托にして奏任待遇を享け官界の人なるも今回再び推されて候補に立ちぬ其辯舌の雄其見地の高蓋し容易に得難き人材たるを失はず君夫れ君により官民の融和を期待し得ば自他の幸福たり

▲前田能市君　人皆君を許して頑强不屈なりと言ふ遮莫頑强不屈は信念の强固なる所以にして豈に漫りに頑冥不靈と同一視すべけん況んや優柔猫の如き俗物の比に非ざるれや思ふに君の如き人ありて始めて多數政治の調節宜しきに適ふを知れば君も亦民會の雄鎭たるを失はず今や推されて候補に立つ其前途刮目すべし

▲大村保太郎君　西部推薦の候補者となり逐鹿場裡の驍將として目さる君は如何の人か笈を負ふて慶應義塾に學び後國權黨に投じて政治に奔走し翻然覺醒して實業の群に入りぬ是れ君の徑路なり而して冷靜は君の長所にして此點に見て君は先天的公人の資格を有す蓋し政治家的實業家なりと稱せらる

●愛媛縣人出漁數　四十二年度中に於ける本縣より朝鮮關東洲に出漁の船數は三百八艘にして人員千五百八十八人漁獲金三十萬二千圓餘に達せるが四十三年度分は目下調查中なれども船數は前年よりも增加したるにより自然漁獲金に於ても增額の見込なりと云ふ（本日一面に愛媛出漁船の額に付訂正す）

民團議員豫選投票締切　結果は二十六日號外にて發表すべし

●慈惠院の出張施療　水原慈惠院は頃日醫師其他を開城に出張せしめ一週間同地方附近の鮮人疾患者に付無代施療を爲したるところ兼てそれぞれ通知を發し居たる事とて夥しく開城に集合し診療患者百七十餘名の多きに達したるが元來同地には內地人の開業醫あれど慈惠院の診療は無代の事とて何れも大に喜び厚く感謝の意を表して歸宅したるのみならず直に同地に分院設立の事を出願し來れりと云ふ

●淸津の埋立工事　淸津西海岸の第一期埋立工事は此の程完成したるが其坪數は約四千坪にして來る三月頃には一般希望者に競賣に附すべく尙は同港第二期の埋立工事も第一期同樣總督府に於て之れを實行すべく同府廳より客年十二月設計書を送致し來れるも豫算の都合上本年度中には起工し能はざるべしと

●京城內地人戶口　昨年十二月末現在の京城內在留內地人（龍山を除く）戶口の最も正確なる數は戶數一万千百五十二戶にして人口は男一万九千○五八、女一萬八千二百八十五、計三萬八千百九十八人なり

●鐵嶺丸と損害　昨年七月朝鮮沖合に沈沒したる鐵嶺丸に搭載したる郵便物の亡失に就ては此の程其の亡失の理由は不可抗力によるものにあらずと決定し書留郵便物に付ては一個に付金十圓書留小包郵便物に就ては重量二百匁迄は金二圓其以上二百匁迄每に金一圓價格表記郵便物に就ては表記金額の全額を差立局より差出人に對して賠償する事と爲れる由

●四十二年度通信年報　通信局より刊行したる明治四十二年度通信年報は昨年度に於ける通信に關する施設經營の要項を詳細に記述しあり

●商業會議所聯合會　來る四月當地に開催すべき商業會議所大聯合會の申込者頻々なるは屢々報道したる處なるが既に今日迄に申込來れる總數百五十餘名に達せり殊に東京會議所の如きは會頭以下五名出席すべしと

●選擧人心得配附　當民團に於ては前日本紙に登錄せし民團議員選擧心得大要を數万枚印刷に附したれば希望者は遠慮なく申出づれば若干枚にても頒つべく又選擧事務所等より多數取纏て申込あれば直に應ずる都合なりと

選擧界の側面觀

▲渡邊與三郎氏出現　現議員渡邊與三郎氏は人の頻りに勸る者ありしも今日迄候補者たるを肯んせざりしが松本彌三氏等と默契の上同氏を參謀長として愈々出現する事に決し二十四日以來大々的の活動を開始せり

▲未知數の龍山　龍山は既報の如く京城南大門外との聯合軍を組織し九名の候補者を立て盛んに陣容を張りたるが如何なる場合にも多少の黨同異伐を免れざるものゝ如く現に二三の反抗的運動者絕へず出頭沒頭し之が爲に幹部一層の敵愾心を以て地盤を固めつゝあり

▲緣故會と候補者　南高同志會は百五十餘名の在留者を有する由なるが極力同郷出身林田金次郎氏の爲に聲援し其他の候補撰定は幹事に一任し各部より適宜推薦せしむべく、又古物商組合は二十三日總會を開き近藤佐五郎氏を推し更に京城醫會員は岡夜巴城館に大會を開き滿場一致を以て古城梅溪氏の爲に應援する事に決せり

▲勞働團と東部　櫻井町海山樓に集合して世上の注意を喚起せし勞働團の背後には例の大學目藥潜在せりとは萬人一樣に付度する處也同團は比較的穩健の行動を執り此點にては寧ろ滔々たる恐喝團と撰を異にす、を以て容易に他の誘惑に陷らざるものゝ如し然れば到底は東部の一團体なるべき傾向を示めし居れり

▲實業同志會起る　某々等當地知名の紳士紳商を網羅せる實業同志會なるもの起り二十五日左の通候補者推薦を發表したり
田中始一郎、大村保太、釘本藤次郎、前田熊市、増田三穗、松浦源治、渕上貞助、古城梅溪、皆川廣濟、三好和三郎

▲辯護士と候補　當地辯護士組合は臨時總會を開き左の三氏を推薦すべく決し此旨發表せり
高橋章之助、皆川廣濟、岩田仙宗
而して事務所を旭町三丁目矢倉書司席に設け盛んに活動を開始せり

▲注意すべき團体　種々の名義を翳ざして雨後の菌の如く簇出せる各團体の行動に就ては當局者の警戒愈々嚴肅を極めつゝあり之が爲に彼等を利用して出さへすれば能いといふ躍起連は少しく注意して可なりと某官邊の人は語れり

●中村少將の東上　平壤駐剳步兵第三旅團長中村要一氏は二十四日來龍廿五日午前釜山に向け出發せり

●醫學士小林千壽氏　元漢城病院外科部長たりし醫學士小林千壽氏は總督府醫院醫員に任ぜられ廿五日より同院室谷外科部長の下に勤務する事となれり

●森地報知記者入京　報知新聞記者森地惣四郎氏は此程入京したるが當分視察の爲め京城に滯在の豫定なりと

●淺岡社長の入京　北韓新報社長淺岡氏は此の程入京浦尾旅館に投宿せり

●村田分隊長歸任　二十三日北漢山に出張したる村田第二分隊長は二十五日歸京す

▲仁川港の出入船舶▼

▲群山丸　廿六日大阪より入港
▲安由丸　同　長崎より入港
▲薩摩丸　同　橫濱より入港
▲安東丸　同　大連へ向出港

公人私人

▲松丸綠之助（辯護士）　廿四日入京三月旅館
▲熊野惠賜（鎭南浦稅關海務課長）　同上
▲花井藤一郎（平壤勸業模範場技師）　廿四日退京
▲鹽澤義夫（海州憲兵隊長）　同龍山へ
▲淺岡重吉（北韓新報社長）　廿四日入京浦尾
▲北村謙吉（宗教界記者）　同佐藤

▲京龍兩驛の貨客▼

▲南大門驛乘降客　二十四日の分
乘車客　五一　下車客　六二八
乘車賃金　九〇八、六五
▲南大門驛荷扱高　二十四日の分
發送　三〇噸　到着　五五八噸
物貨賃金　八五三、三二
▲龍山驛の乘降客　二十四日の分
乘車客　一三三　下車客　二四九
乘車賃金　八九、九九
▲龍山驛の荷扱高　二十四日の分
發送　一八噸　到着　二一一噸
貨物賃金　三八一、六九

▲京城手形交換高▼

一月	金高	枚數
廿五日	一〇四、〇九一、三二	二三九

寄書

●今後の京城（上）

高橋章之助

今や京城民團議員選擧の期切迫したるに際し我黨其の候補者として今後の京城に就き所見を陳ぶ、强ち徒爾ならざるを信ず

△併合後の現況

併合後に於ける京城は政治上實業上共に啻に朝鮮に於けるのみならず我國領土內に於て東京に亞ぐの都府たるや論を竢たざるべし何を以て之を謂ふか即ち人爵上より言へば先つ皇族待遇者五人、親任官三人、勅任官百二十八人（中樞院及李王家關係者をも含む）其他大小官吏無慮數千の多きに居り又住民にしては內地人約五萬人、鮮人約二十萬人を有し其他諸官衙銀行會社等數十を以て算すべく殊に近き將來には離宮の設置せらるゝや必定ならんと信ず而して其交通機關に至りては市內電線縱橫連絡し漸を逐ふて線路延長蛛巢を爲すに至るも將に遠きにあらざるべく又鐵道に在りては半島の幹線たる京釜、京義の兩線六百哩に餘る大鐵道の中樞停車場を有す而して今や京元、湖南の橫貫線も工事中に屬し其竣工も近々數年を出ざるべく此竣工の曉には南北旅客の乘降及貨物の集散益し現時に倍加すべしと云ふも豈夫れ過言ならんや夫れ斯の如き多數の紳縉高官並に住民を有する都會は東京を除きて對比する所なし故に予は京城を以て我領土內東京に亞ぐの都府と稱する所以なり

△民團施設の事業

此東京に亞ぐべき都府たる京城には將來如何なる事業の施設すべきものありや曰く市區改正曰く敎育曰く衞生曰く殖產其他施設を要すべきもの多々之れ有るなり而して之等諸事業をして遺憾なく完備せしむるには巨多の資金を要し之れが支途の如きは極めて重要の問題にて其適實なる實行を期するは理事者及吾人住民の一致協力の結果に待ざる可らざるべや論を竢ざるなり



活動寫眞 榎面子

▲二十五日 朝の南大門驛

宵の雪は止んで朝日が射す、驛床一番外套黒沢に街路に出づれば、瘠狗後を追ふも憐れである。

市場へ運び入る白菜は凍つて水晶の結塊のやうに、之れを擔ふヨボの白衣と調和して運送の眼は寒い。

停車場は掃除されて潤ふ朝日の光りは硝子窓を透して心が浮く。

手荷物十數個は既に預け濟みとなつて一方に積み重ねてある、土佐製紙會社の四六全判の一梱包も見へる。

一等室には天眞樓の若者の搬び入れた高棧樓、との大包が目に着く。

三等室には朝鮮人の正札附のカバンが在て二圓二十錢と書いてある、其儘提げ行く無造作は流石に朝鮮人であると思つた。

如何です此本の紳士諸君、其頭に戴く金線帽や、胸に輝く金鎖に正札を附したまゝ堂々濶歩されては。

▲列車中山勝之助氏は鳥致院に至るべく見へて、更に

▲檢事正中川一介氏も水原に至るべく見へた。

▲午前九時、釜山行列車は、滊笛一聲、刹那客は尚ほ駈け付けたが、列車は發せぬ。

滊笛吹き直し面白き藝當は演せられて、更に同一聲、漸く長蛇の体を動かし三分。

▲同九時十分、新義州行列車も發して停車場は、一しきり寂寞の天地となつた。

驛を出づれば、雪はちら〳〵とハンチングの上へ降る、歌あり云はく

默しつゝ歩む巷に雪降りて南國に入る滊車の君想ふ

曲線の街の淋しき朝ぼらけ襟足寒く雪雲流る。

西小門情御關所

▼白人娼婦の大活動

「吉田通れば二階から招く、しかも鹿の子の振袖で」と來りや三味線にものゝが「西小門通れば袖曳く女シカモ毛皮の頬冠り」と來ては何う最負目に見てもピアノにものり和にもなし曾つても我社三面子が西小門のコスモポリタンと題して記載したるが今日此の頃の西小門は其の時にも增した全盛にて未だ初夜を過ぎざるに女伴れざる男通れば軒に輝く紅燈の下より白人娼婦音律調ふ日本語にて「貴君れ入りなさいませ美しい女居ります」と聲を掛けたちや物足らず近寄り樣にマントの端緊と摑んで離さばこそ「貴郎好男子ある私家女好く」ある五十錢宜しいと羅生門の鬼紛きカブトを脱がせにや止ぬ勢物凄まし、よしやれ放されと申しても不解振りで放さばこそ、白岳嵐雪を捲き、木覓颪雨を呼び道路は鏡と冴てたる夜も裏毛着いた外套、手袋、毛皮頬冠り、恰度南極探險隊員の如き容子にて屆せず撓まぬ活動振りの至誠は天に通じてにや朝鮮人や支那人苦力の同情にて何うやら其の日を送つて居る但し取引は前金の事とか渡る世間にや鬼はない「マア何んで間が善いんでしよう」と何處で覺へて來たのか太平洞での仲間話し、さりながら聞けば彼れ等の多くは有毒患者らしければ同情なさゞにしてからが御注意なくば「マア何んで間が惡いんでしよう」と六〇六號の厄介になること蛇度請合なり

●隱れたる温泉場

▽平山郡の温井院

黃海道平山郡温井院は目下八口僅かに二百名位にて瀛川を去る西方四里に在り朝鮮併合後民情漸く融和して內地人と親しむの傾向を來し居れるが同地には內地人とては雜貨商夫婦一人あるのみにして他は同地憲兵位のものなり温泉は該部落の中央街路に跨り差渡し五間周圍十五六間にして温泉の湧口は其中央にありて朝鮮人は之れに大なる石を蓋ひて衣類洗濯場に充て其周圍十五六間の溝は浴場に充てられ目下泥壁の圍ひに藁葺の屋根を蓋ひ、浴場の底は自然の儘の砂にて質は淡白の觀あり温度は極めて適當にし質は炭酸なりといへり同地は未だ世に隱れたる温泉なれども若し之れに完全の設備を爲さば內地に於ても稀に見る好温泉となるべく同地方の風景亦掬すべきものあり昨今鴨、雉等の狩獵亦最も可なりと同地よりの歸來者は語れり

●火賊二名の逮捕

去る十七日午後八時頃高陽郡下道面蘭下里四統二戸金花春の弟なる金啓山(十八)を使者として同地朴啓俊方に一封の書狀を差渡し此事を他に口外すべからずと堅く口止めし南方京城方面に消え失せたる二人の男ありしが开は言ふまでもなく何者とも知るに由なく鮮人に等しく面部を深く包み居れば其書狀を開き見るに例の有勝な脅迫状にして來る二十一日迄に金六十圓を同地名の深山碑石峴山頂に持參せよイヤと言はば燐寸一本にて灰燼を爲すべしとの何なれば言はずと知れた火賊の所業なれば朴は恐氣を揮つて顫ひ上がり直樣里長にこその始末を打ち語りたるに是れ又た弱蟲にて泣く〳〵六十圓を調達して指定の二十一日午後一時を違はず御苦勞にも同山頂に攀ぢ登り待受けたるが同地方分遣所にては此事を探知しそれ〳〵警備に手を盡し居るとも知らず二名の火賊は手に〳〵木銃を携へ朴を取捲き其懷中を探り金子を強奪せんとする折しも右側の山林中より鮮人に扮裝せし憲兵ヌツト立現れ直に其一人を捕縛したるに他は此体に面喰ひ物をも言はず取つて返し坂道を下り行くを隘路より又擔夫に扮裝せし憲兵二名立現れ難なく取押へたるが是等鮮人の扮裝者は只物ならず斯くあるならんと待設けたる舊把撥里分遣所長及び一山里出張所員にして直に引致取調べたるところ二名とも同面內隣村の盧鳳郁(十)鄭元和(二)と云ふものにて鄭は某學校上の處は以前へ工職にあるが爲め木銃製作を爲し昨年來惡事を働きゐたりと

●主事の官金費消

東京府荏原郡品川町二日市村百四十八番地遠近富之助(五〇)は明治二十四年以來判任官を勤め現任年金百八十餘圓支給せれつゝありて明治四十一年朝鮮國政府度支部に任官せられ同時に鐵原財務署主席主事として任命奉職せしが鐵原地方日本人の習慣として公私人の出入毎に宴會を催すこと多き爲め多額の交際費を要し爲めに財政に困難を生し遂に官金を費消するに至りたる罪跡を聞くに四十一年十一月中鐵原財務署次席主事衣笠敏行が平康郡に出張して徵收したる稅金七十二圓八十三錢を受領し乍ら國庫へ納入せず之を費消したるを初めとして外二回に二百六十餘圓を費消したるものなるが京城地方裁判所春川支部にて豫審終決當地檢事局に移送せられ鐵原裁判所兩角檢事の係りにて審理中の處二十五日懲役一ヶ年に處せらる



寫し出されたる議員候補(高等演藝館に於ける)

●野中推弘の處刑

既報野中推弘、吉田淺吉の詐欺取財事件は伊藤檢事の求刑通懲役二箇年に處せらる

[illegible]丁目八番戸梅尾關八(二六)は龍山大島町木谷某方に於て質屋營業中昨年四月十六日縮緬紋付羽織一枚を質に取り金五十圓を貸與し同年十月迄の利息を受領しながら流質期限の來らざる內に十一月十八日龍山元町三丁目古物商江頭運平に金七十八圓にて賣却して被害者より告訴され南部署に於て取調の末罪狀充分にて橫領罪として二十五日檢事局に送らる

●質屋の橫領罪

福岡縣朝倉郡菱野村九十五番戸當時太平町一

●丸太を積て告發

七川花房町二丁目運送業中館吉は同町通運會社裏手道路中央に丸太を置き通行の妨害になるを以て其筋より再三取除を命ぜられたるも其儘になし置きより廿五日告發せらる

●浮浪者處分

兵庫縣加東郡河合村二十五番戸當時住所不定杉本市松(三二)は一定の住所職業なく諸所を徘徊し南部署に引致され浮浪者として拘留十日に處せらる

●驚いた正直女

仁川濱町二丁目東洋煙草會社內岡田みつは二十四日午後三時半頃新町へ買物に行き歸途同町二丁目通路に於て韓貨一個を拾得し派出所へ

●仁川の鼠買上數

廿四日は百四十六頭で四圓三十八錢

●頭割代金四圓也

仁川龍洞六統二戸居住李用義(二五)外三名は二十四日午前一時半頃同洞質屋李興善方に來り質入れを賴みしが先方にては最早時間も二時近くなりしより寢に就き居りたる故明朝持參し與れと斷りしに非常に立腹し表に掛けありし看板を破り尚ほ同人を毆打し頭部へ負傷せしめたるより一同を引致し取調の結果用義より治療代及損害料四圓を辯償せしめ加說放還

▲平民文庫▼

●京城座 毎夜大入好評を博し居る兄弟館團廿六日の藝題は思ひ出通る初一念通しにて大車輪に演ずる由

▲南大門外右側に休業商會と云ふ招牌を出た家がある休業してるのかと思へば左樣ではない營業してる何う云ふ主人の量見か判らん處に値打がある(通行人)▲本町一丁目の青木堂の地尻に玉襟堂と云ふ菓子屋がある名は實の賓なりとすテひ馬琴は名詮自稱妙なるかなと申して居るから嘸や奇麗な菓子屋なるべしと覗いて見れば此れは又似ても似付かぬ鐙から菓子屋(吃驚生)▲明石桐一と云ふ方の禁酒廣告は當分の內三四杯乃至七八杯用ゆとあるそのは可笑しい(可笑生)▲一寸見ると左樣で時に禁ずると云ふことが惡しいからだ相です(係)▲京城にも隨分如何はしい藝妓都々逸も滿足に唄へぬのが居るぜと南山湯で話した馬鹿な男があつた其の對手の男の返答が面白い「京城だから」と(傍聽生)▲暖衣飽食せんが爲めに佛を賣物にして寒行の糸瓜のと騷ぎ回るよりは退て豆腐賣りなり車挽きなりするが佛弟子じやぞ(呪破生)▲暖衣飽食せん爲に働くのは働かずに暖衣飽食する佛弟子共よりは遥かに上等だ喝破生の言は餘りに極端ではないかと思ふ云つても坊主どもを褒めたのではない(小僧)▲京日子の懸賞文苑當選の懸賞の事に就ては投書ありたる方へ申す右は直接お話しなされば判明することなれば今後とも登載致さず(係)▲天理湯の女湯では洗濯物をなさる人があるので傍人は迷惑する主人たるもの其樣な浴客はお斷りなさい(注意生)

日運

●一月廿六日舊十二月廿六日●六白先勝丙申危△一白●援助又は便宜ある日なり子孫の事を舉げ婚禮雇入れ旅行新事進んで利あり△二黑●旅行舟下し命名拔萃說兼宴會に忌む其他は快欣の日進んで吉△三碧●命品授受證券の事故障起り易し尚新事旅行婚禮見合せ△四綠●不快陰鬱の運氣なり盜害の事△五黃●業務上轉倒失錯あらん他は平和進んで吉△六白●爭議屈伏要求を受くる△七赤●取引賣買貸借尤も注意すべし其他總じて不如意す諸事謹愼の事△八白●計算談判相談協議協約の事間違易し他は進んで吉△九紫●親疎に不拘煩累世話事多し新事旅行貸借轉任婚談に忌む(本町五丁目三二館判斷)

제610호 1911. 1. 26.

◎諸公債諸株券 現物賣買
迅速確實に御取扱可申候
兼業
京城本町三丁目
大坂野村徳七代理店
田中友吉商店
電話九二九

京城居留民會議員候補者（イロハ順）
林田金次郎君
和田常市君
中村再造君
山口太兵衛君
松永達次郎君
増田三穂君
小林藤右工門君
秋吉富太郎君
城六太君
森勝次君
右推薦候也
中部同志會

京城居留民團民會議員
西部候補者（イロハ順）
池田長次郎君
大村保太郎君
海津三雄君
高橋章之助君
曾我勉君
中島司馬之助君
松浦源治君
深水清君
榊原長緒君
三好和三郎君
右推薦候也
明治四十四年一月　日
西部有權者選擧事務所

京城居留民團民會議員
東部繁榮會候補者（イロハ順）
石井新君
大橋清三郎君
梶原末太郎君
田村義次郎君
釘本藤次郎君
淵上貞助君
古城梅溪君
近藤佐五郎君
木島平兵衛君
關繁太郎君
右推薦候也
明治四十四年一月　日
東部繁榮會

酒精アルコール
直輸入元
仁川花町一丁目（電話六五〇番）（電略サ）
坂倉支店

ライオン齒磨（はみがき）
代理店
京城南大門通三丁目
新井薬房
電話千六十八番
振替口座京城九百四十六番
京城本町三丁目
森久商店

◎遠きは郵信近きは即時!!

曩に會員五百六十餘名の贊助を得豫想外の稱賛を博せる本會は客年十一月を以て會員所定の提供を了へたるを以て好評嘖々再度開催方を促されしも時歳棺に屬し百事匆忙延ひて今日に至れり茲に年頭其筋の認可を得流行を逐ふて提供種目を一新し再第二回會員を募集せんとす若夫方法の輕便なると品質價格の正廉とは江湖既に定評あれば更に呶々するを要せざるべし
幸に本會を利用して調度の便を得んと欲せらるゝの士女は規定書に據り陸續御入會あらんことを
明治四十四年一月

月賦提供 京城時計與振會

◎此機を逸せず加入せられよ!!

一、本會は最も簡易なる月賦法を以て時計其他を會員に提供するを以て目的とす
二、募集期間は本年一月に始まり二月十五日を以て〆切とす
三、第一回抽籤は二月十九日（第三日曜日）午後一時を以て京城明治町淨土宗開教院に開催すべし
四、提供品の種類は金銀時計各種發音器自轉車寫眞機金鎖純金指環金縁眼鏡等とし一に會員の指定に任す
五、會員の定數は五百名とし募集區域は朝鮮一圓とす
六、期限中と雖も滿員の節は御申込を謝絶す
七、提供品は各取扱店頭に陳列し大方の眷覧に供すると共に會名を記したる一定の赤幟を軒頭に掛つ
八、滿會の際には抽籤に依り一等三越呉服券（四十圓）を始め種々の大景品を附し會員に進呈す
但し一本も空籤なし
九、方法及内容等は詳細載せて規定書にあり左記取扱店へ申込まるれば即時進呈すべし（送料郵券二錢を要す）

取扱店（イロハ順）

京城本町六丁目 市川時計店 電話一一〇五番
同 本町二丁目 織居自轉車部 電話四八〇番
同 鍾路通一丁目 加藤時計店
龍山 榮町 川添天光堂
京城永樂町三丁目 川合時計店
同 本町四丁目 中村時計店
水原 城内 築田時計店
龍山 榮町 福富時計店
京城本町一丁目 小林時計店
同 明治町一丁目 寺島時計店 電話壹壹七番
同 鍾路通一丁目 赤帽子時計店 電話九八七番
同 本町一丁目 金化堂時計店 電話一三一八番
同 本町五丁目 三浦天龍堂 電話一〇二番
龍山 本町 塩谷天眞堂 電話五六二番
京城本町一丁目 平井動資堂

取次店

京城本町四丁目 織居商會 電話二六二番
平壤 南門通 同支店 電話二三番
仁川本町三丁目 喜多金光堂本店 電話七〇五番
京城本町二丁目 同支店 電話一〇一五番
同 本町二丁目 赤帽子商會 電話一一三一番



二十世紀之新劑
最良新藥
月經不順
▲月經をつうぜしめ
子宮病を全治す
月經閉止三四ヶ月の滯りを通じ其他月經不順より起る子宮病血の道、頭痛、食物進まず、氣分鬱ぎ、逆上強く等の病を根治し、血のめぐりを能くす。

代理店
京城南大門通二丁目
新井藥房
電話九〇四番
振替口座京城一〇六八番

◎貸金
有給者にて兩秘密に低利融通可申候
旭町二ノ一五別府向小路
高橋

代理店
京城南大門通三丁目
新井藥房
電話九百四番
振替口座京城千六十八番

くだり病一切の特効藥
健胃固腸丸

●主治
●赤痢病●コレラ病●腸胃加答兒等に用ひて實効速なり
●常に好へ買ひ朝夕五粒づゝ服用せば腸胃の衰弱を治し食物の消化を能くす

藥價
貳十粒入 五錢
四十五粒入 拾錢
百粒入 貳十錢
三百粒入 五十錢
七百粒入 壹圓

本劑は全國到る所の賣藥店に取次販賣せり
御買求めの節は商標と谷回春堂に御注意を

登錄商標
大阪市東區伏見町
本舗 谷回春堂
（電話東四五八番）
（振替貯金番號八三〇）

旭屋旅館
仁川濱町
弊館には夜警の設備有り
陸軍指定旅館
鐵道院指定旅館
仁川水産組合指定旅館
各保險會社指定旅館
第一御客樣の安全此の上なし
電話二五一

ゴールドシール印
コンデンスミルク



米國紐育市ボーデン煉乳會社

エールリッヒ、秦兩氏發見
梅毒新藥（六〇六號）
●原品到着に付注射開始（注射料金低減）
花柳病 痔疾專門
相生町南門湯前（電話二九四）
京城梅毒病院
院長 醫學得業士 蘆田耕平

廣告
一佛國レロイ社製壁紙各種
一英國ランカスター無地リノリユーム
一ボンメル蝶番各種
右多數貯藏致居候間御注文願上候
明治四十四年一月
京城エルロンドン商會
吉岡信太郎
電話九九五番

人力車及附屬品
並に教育玩具
壹割引大安賣
京城明治町二丁目漢城病院前元尾川商店跡
吉岡商店
電話一千八百四十番

瑞西タバン時計會社韓國代理販賣店
米國ウオルサム時計
米國アンソニヤ時計
獨逸國スカンジヤ自轉車
韓國特約販賣店
特約販賣店
時計卸商
仁川本町三丁目
喜多金光堂本店
電話七五〇番
時計卸小賣
京城本町二丁目
喜多金光堂支店
電話千十五番